

第十二回お茶の水小学校・幼稚園施設整備検討協議会 議事要旨

日 時：平成 30 年 8 月 31 日 18 時～19 時 30 分

会 場：お茶の水小学校 2 階ランチルーム

出席委員：名簿順（敬称略） ■出席 □欠席

■山崎充彦委員 ■須賀雄一郎委員 ■熊井淑子委員 ■春田紀子委員 ■倉木嘉代子委員
■久居萌委員 ■高山肇委員 ■角谷幹夫委員 ■西角邦夫委員 ■影山純子委員
■角谷幸男委員 ■中村榮太郎委員 □渡邊圭一委員 ■石澤長一郎委員
■木村美佐子委員 ■小林泰治委員 □田近恭一委員 ■土屋希美委員 ■五味美智子委員
■菅野豊委員 ■角谷幸子委員 □小林かおり委員
■太田耕司校長 ■村木久人教育担当部長

オブザーバー：■清水智子 ■松内幸子 ■小阿瀬弘道 ■猿渡裕司

傍聴者：■3名

事務局：■小池正敏 ■須貝恵子 ■赤石晃朗 ■田島学 ■早川陽平 ■佐藤雅宏

山下設計：■原田聡 ■荒木了 ■前原竹二 ■戸村奈央

議事：

1. 開会あいさつ（会長）

2. 配布資料の確認（事務局）

- ・資料 1：委員名簿
- ・資料 2：お茶の水小学校・幼稚園の施設整備について
- ・資料 3：各階平面図（案）

3. 新委員紹介

- ・児童保護会 熊井委員 春田委員
- ・わかば会 久居委員
- ・太田校長
- ・村木部長
- ・オブザーバー 猿渡神田公園出張所長

4. 資料 2・3 説明（事務局）

5. 質疑

- ・避難所利用する場合は地下の体育館を利用するのか（委員）
→ 2 階多目的ホール及びランチルームを利用する想定。スペースは現状の講堂以上の大きさとなる。またバリアフリー対応のため幼稚園を利用する可能性もある。詳細は運用方法等を含め今後協議していく（会長）
- ・入学式や卒業式はどこで行うのか（委員）

- 基本的には体育館を利用する想定。運用方法は今後検討していく（校長）
- ・旧3校の同窓会資料はどこに保管するのか（委員）
 - 展示保管可能なものは2階メモリアルホールや地下体育館前のホールに保管する。展示が不要なものは地下に保管スペースを設け保管可能な計画とする（山下設計）
 - ⇒今ある資料は全部入るのか（委員）
 - 資料の収納必要量については今後調査していく（事務局）
- ・備蓄倉庫の大きさは現状よりも広いのか（委員）
 - 1階に倉庫を確保した。現状数カ所に分散している各倉庫の合計面積を以上の広さを計画している。分散している倉庫を集約できるため管理し易くなる（会長）
- ・エレベーターの表記は間違っている（委員）
 - 正しくはEV3がEV2、EV4がEV3となり、計3台で計画している。EV1は乗用利用、EV2・3は給食の搬送用EVとなる（山下設計）
- ・トイレは全て洋式とするのか（委員）
 - 和式を全てなくすことは想定していないが、洋式を中心に計画する。詳細は今後検討していく（事務局）
- ・校庭は人工芝か（委員）
 - 細かい仕様は今後の実施設計の中で検討し、後日相談させていただく（会長）
- ・免震構造とするのか（委員）
 - 免震の方向で進める方針（事務局）
 - ⇒いつから免震の方向となったのか（委員）
 - 協議会や区議会などの意見を踏まえ、区で方針を決定した。避難所等の利用を想定した場合、免震の方が好ましいという方針となった（事務局）
 - ⇒前回の協議会では免震ではなく耐震の方向で進めていたのでは（委員）
 - 決定事項ではない。本日は免震の方向で案を作成しお持ちしたのでご確認いただきたい（会長）
 - ⇒前回の会議は耐震の方向で議論していた。免震の方向となったのは4月頃。協議会での免震の図面の提示は初めて。保護者の中で免震がいいというわけではなく、保護者アンケートの中で1名、免震にしてはどうかとの意見もあった（委員）
 - 免震とした場合、グラウンドはどの広さまで使えるのか（委員）
 - グラウンドの緑のラインで記載の範囲まで使用可能。緑ラインは免震クリアランス（最大60cm）を除いた部分を示しており、校庭面積は1940㎡（現状同等）を確保する計画としている（山下設計）
- ・管理SSとは何か（委員）
 - 管理シャッターのこと。地域開放部分と小学校専用部分とセキュリティ上区分するため設けている（事務局）
 - ⇒管理シャッターが閉まっている地域開放時には小学校の先生などはセキュリティラインを行き来することはできるのか（委員）
 - 可能（事務局）
- ・選挙時の利用も想定し、管理シャッターを設けている。また選挙時には1階南側の学童の部分を活用できると便利だと考えている（会長）
- ・主事室の位置について1階正門前にも主事室を設けた方が良いのではないのか（委員）

- インターホンでの対応を想定している。管理の都合上主事室を2カ所設けるのは合理的でない(事務局)
- ・2階多目的ホール周りにトイレはないのか(委員)
 - ハンディキャップトイレがあるが、数が足りていないと思われる。今後増やす方向で検討する(事務局)
- ・最近では自宅に階段がない家庭が多いため、幼児の階段を歩行する機会が減ってきている。幼稚園内で階段を歩き来できる計画とすることはできないか(委員)
 - 学童とのセキュリティ管理・動線を考慮すると難しい。保育室は全室校庭に面して設ける事を優先した計画となっている(事務局)
- ・和室は何人程度で利用するのか、どのような利用を想定しているかによって大きさや仕様が変わってくる。また家庭科室と隣接させた方が使いやすいのではないか(委員)
 - 特別教室の位置・大きさなどは実施設計の中で検討していく(事務局)
- ・地下体育館の器具庫の上のスペースは何のスペースか(委員)
 - 器具庫スペースである(山下設計)
- ・4階メディア室に面している中庭はメディア室からも利用可能なのか(委員)
 - バルコニーおよびメディア室から利用可能。屋内化することも可能(山下設計)
- ・計画案での避難経路の考え方を教えてほしい。また、南側の屋外階段は5階まであげる事は可能か(委員)
 - 建築基準法の避難階段は階段A・C・Dを利用する。また屋外階段を5階まであげる事も可能。安全性を考慮し、廊下およびバルコニーをつなげ、行き止まりのない回遊動線を計画しており、二重の避難経路の確保している(山下設計)
- ・校庭面積にはうんていなども含めた面積となっているが、実際に現状の面積と比べて大きくなるのか。以前の資料で有効面積を測定した資料があったと記憶している(委員)
 - 計画案のグラウンドの面積は既存グラウンドと同様の計測方法により算出しており、既存グラウンドと同等の面積を確保している(事務局)
- ・体育館が避難所となった際にはどのような動線でアクセスするのか(委員)
 - 階段A・B・Dを利用する(山下設計)
- ・体育館は一般開放するのか。開放する場合、体育館へはどのようにアクセスするか(委員)
 - 開放を行う想定。2階主事室を経由し、エレベーター1を用いてアクセスする(山下設計)
- ・展示棚はどのように利用していくのか。生徒が作成したものなどを展示する場所はあるか(委員)
 - 詳細は今後検討していく(事務局)
 - 壁面への掲示板の設置や図工室の前に棚などを設置する必要となる。今後検討していく(校長)
- ・バリアフリー対応の経路としては、北側のスロープでよいか(委員)
 - バリアフリー動線は北側のスロープを上がりピロティを通過して幼稚園側のエレベーターにアクセスする計画としている(山下設計)
 - ⇒学童側の出入り口からのバリアフリー動線は、緊急車両用のスロープを使うのか(委員)
 - 基本的には北側幼稚園側の動線を用いる想定。緊急車両用のスロープも利用可能であるが、デッキ部分の段差解消のためのスロープが別途必要となる(事務局)
- ・学童の外部からの出入り口は1箇所か(会長)
 - 1カ所で計画している(山下設計)

- 選挙に利用するためには出入り口が二つ必要であるため、学童の利用は難しいかもしれない。今後運用の仕方も含めて検討していく（会長）
- 特別教室の配置についても今後検討していく（校長）
- ・学童側にはエレベーターは設けないのか。バリアフリー動線は今後検討していただきたい（委員）
 - 今後検討する（山下設計）
- ・体育館の観覧席はどのように計画しているか（委員）
 - 地下1階に観覧席を設けた場合、給食室への管理動線との関係上アクセスが悪い。ただし体育館の中間（B1階レベル）には、ステージを除いた周囲3周を行き来可能な通路を設ける計画としている。また、体育館の大きさも余裕を持って計画している。例えば公式バスケットコートを利用時は両脇4.5mのへり空きを利用して観覧可能な計画としている（山下設計）
 - ⇒上部通路の幅はどの程度か（委員）
 - 1.2mを想定している（山下設計）
- ・猿楽通り・錦華通り側の敷地境界から建物までの距離はどのように決定しているか（委員）
 - 植栽帯の根鉢サイズ、免震層の可動範囲を考慮し計画している（山下設計）
 - ⇒免震ではなく、耐震とした場合もう少し道路側へ寄ることはできるのか（委員）
 - 免震とした場合、地下工事を行うためのスペースを確保する必要があるため、表記の計画サイズが最小となる（山下設計）
 - ⇒アール面のデザインが重要であるため、なるべく道路側に寄った方が良いのではないかと。今後検討していただきたい。アール面の内側がパイプスペースなのはあまり宜しくないのではないかと（委員）
 - デザインも検討はしている。まだ決定事項ではないため今後検討していく（事務局）
- ・B2階にある控室はどのような部屋か。かつてのミーティングルームのようなものか（委員）
 - その通りである（山下設計）
 - ⇒展示棚や記念室、収納室などのスペースを確保するため、控室を広げて利用することはできるか（委員）
 - 控室を広げて収納を増やすことは可能（山下設計）
- ・1階のサービスヤードへのアクセスは道路から1階レベルにフラットにアクセスできるのか（委員）
 - 同レベルで計画している。そのため周囲よりも1m程度高くなっている（山下設計）
 - ⇒駐車はバックで入るのか、それとも切り返すのか（委員）
 - 回転はできないが切り返すことができるよう計画している。寸法はぎりぎりではない数値で計画している（山下設計）
- ・地域開放となった場合、プールへのアクセスルート・避難ルートはどのように考えているか（委員）
 - アクセスはE V 1を利用する。避難階段は階段A・Cを利用する。
 - ⇒幼稚園から入ってE V 1利用するのか（委員）
 - 2階の主事室を経由しE V 1を使う想定（山下設計）

6. まとめ

- ・本日いただいたトイレや展示スペースなど細かい部分は今後検討していく。基本的な建物の配置、ゾーニングについて計画案で進めてよいか。問題がなければ後は小委員会で詳細の実施設計を詰めていきたい（会長）

- ・この案は議会には示しているのか（委員）
 - 7/25日の常任議会で説明済み（事務局）
- ・免震という方針も含めて決定するのか（委員）
 - 区として免震の方が好ましいということで免震も含めてご提案した（事務局）
 - お金が無くなったから耐震にしますということにはならないか（委員）
 - 予算はこれからであるが、現段階では費用面を理由に免震から耐震にするということは考えていない（部長）
- ・体育館の横幅はミニバスコート二面とった場合、壁側までの距離は1mか。この上部に1.2mの通路があるということか（委員）
 - その通り（山下設計）
 - ⇒区内の8校の小学校から児童を集めてミニバスの大会を行う場合、試合をしていない児童などは全てホールで対応するのか（委員）
 - その様に想定している（山下設計）
 - ⇒コート周りや1.2mの上部通路以外に観覧スペースを確保することはできないか（委員）
 - 体育館をサイズに影響が出る可能性が高い。コートを狭くして確保する必要がある（山下設計）
- ・実施設計になった場合、どの程度までは変更が可能なのか（委員）
 - 配置計画・動線の考え方・ゾーニングは変更できないが、教室の部屋割り・多少の大きさの変更は可能（事務局）
 - ⇒2階にトイレを増設することはできるか（会長）
 - ランチルームを削るか、メモリアルホール内に計画可能である（山下設計）
- ・基本的な方針には賛成でよいか（会長）
 - ⇒よい（全委員）

7. その他

- ・九段小が完成したので見学会を行う予定（会長）
- ・避難所の変更先はどこになるのか（委員）
 - 11月の避難所運営協議会で検討予定。まだ決定はしていない（事務局）
- ・建設期間中の仮校舎へのアクセスの仕方等早めに案を示していただきたい（委員）
 - 仮校舎は旧九段中を利用予定。送迎については現在予算を含め検討中。なるべく早めに説明できるように検討していく（部長）

以上